

## P112a Gaia データを用いたオリオン大星雲星団の解析

西亮一, 石倉来実 (新潟大学)

我々は Gaia DR2 のデータを用いてオリオン領域をはじめとする集団的星形成領域において若い星についての解析を行っている。そして、固有運動を平面での分布が非常に重要であることを示してきた。

本講演では、オリオン大星雲領域の若い星の 3次元分布についての解析結果を報告する。オリオン大星雲はトラペジウムと呼ばれる 4つの大質量星などによって電離ガスが光っているが、周囲には多数の中小質量星が存在し星団となっている。この周辺の領域では星雲光の影響などで、Gaia のみでは HR 図を描くことができない星が多いが、固有運動平面での分布や 2MASS データとの結合により若い星を選定することができる。その結果、オリオン大星雲星団の 3次元構造を調べると、オリオン A 巨大分子雲とほぼ直交するような視線方向に伸びた構造が確認できた。また、限定的ではあるが星形成史についての解析結果も報告する予定である。

これらの解析結果は、Gaia DR2 を用いたものであるが、12月3日に公開される Gaia EDR3 を用いて改めて解析を行い、その結果について報告する予定である。